

製品名: CRSP150 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab09424

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	MED14 MED14; ARC150; CRSP2; CXorf4; DRIP150; EXLM1; RGR1; TRAP170; Mediator of RNA
別名	polymerase II transcription subunit 14; Activator-recruited cofactor 150 kDa component; ARC150; Cofactor required for Sp1 transcriptional activation subunit 2; CRS
遺伝子 ID	9282.0
SwissProt ID	O60244
免疫原	抗血清はヒト MED14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 701-750

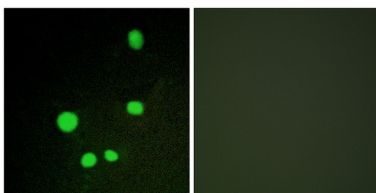
背景

遺伝子転写の活性化は、DNA 中の転写エンハンサー部位を認識する因子によって引き起こされる多段階のプロセスです。これらの因子は、コアクチベーターと連携して、RNA ポリメラーゼ II 装置による転写開始を誘導します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CRSP (SP1 活性化に必要なコファクター) 複合体のサブユニットであり、TFIID とともに、SP1 による効率的な活性化に必要です。このタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体 (TR) 関連タンパク質など、TR と相互作用し、開始因子およびコファクターと連携して DNA テンプレート上で TR の機能を促進する他のマルチサブユニット複合体の構成要素でもあります。このタンパク質は、二分核局在シグナルを含んでいます。この遺伝子は、X 染色体不活性化を回避することが知られています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的な調節タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基底転写機構へ情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは調節タンパク質との直接的な相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般転写因子との機能的な転写開始前複合体の形成のための足場として機能します。、類似性: メディエーター複合体サブユニット 14 ファミリーに属します。、サブユニット: GATA1 と相互作用します (類似性による)。メディエーター複合体の構成要素であり、

MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 から構成されます。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを含まないメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。メディエーター複合体のうち、1 つ以上の異なるサブユニットを欠く個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれています。AR、ESR1、SREBF1、STAT2 と相互作用します。、組織特異性: 普遍的。、

研究分野

画像データ



MED14 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。